

教育目標「考動」

尺短寸長 (せきたんすんちょう) ～ 創立40周年 記念特別号 ～

- 令和5年1月12日(木) 記念式典
① 学校長あいさつ ② 40年のあゆみ(動画)
③ 記念事業実行委員長あいさつ

式典 校長あいさつ

本日、瀬田北中学校創立40周年記念式典を、連吉徳 創立40周年事業実行委員長、並びに、阪口 博司 PTA 会長のご臨席のもと、執り行うことができますことに、高いところからではございますが、あらためて御礼申し上げます。また、ご臨席を賜ることができませんでしたが、今日まで、本校に支援を賜って参りました地域関係諸団体様をはじめ、多くの関係機関各位に、感謝申し上げます。

本来であれば、瀬田北中学校を見守り続けていただいた、地域の皆さまにもご列席いただき、40年を振り返り、新たな一步を祝意の中で進む決意とさせていただきたいところですが、3年前に発生いたしました、新型コロナウイルス感染症が未だ終息することなく、現在第8波による感染拡大も懸念されることか、ご臨席を賜れないこと、残念に感じると同時に、お詫び申し上げます。

さて、生徒の皆さん、瀬田北中学校が40歳を迎えることになりました。この後、配布される記念誌には、40年前の瀬田北中学校区や世の中の様子、瀬田北中の出来事等がおさめられています。また、メタモジを利用し、動画で「40年の歩み」も見てもらいます。

どうか、今、ここで学ぶこと、部活や行事などで多くの仲間と切磋琢磨できることを、当たり前と思わず、感謝の気持ちを持ちながら、この記念式典の時間を過ごしてもらい、40年の歴史と伝統を感じ取ってほしいと思います。

紹介したい言葉があります。校長室に掲げられているこの額を見てください。



創立を迎える1983年4月5日(火)に創立に関係された方が布に寄せ書きをされた物です。その中央に書かれた言葉について、紹介したいと思います。皆さんからも読めるように模造紙に書いてみました。



最初の文字は「有」で、次ぎは四字熟語です。この熟語の意味することが、有る学校を理想とされたのだと思います。

尺と寸は、物の長さを表す単位です。尺で短い、寸で長い、となります。本当は尺が長く、寸が短いはず。読み方は「せきたんすんちょう」。意味を辞典から引き出したところ『人や物は、それぞれ長所と短所があって、時と場合で評価も変わるということ。また、何においても完璧なものなどないということ』一尺の長さは、短いと感じる時もあるれば、一寸でも長いと感じる時もあるという意味。』とあります。

つまり、人には必ず長所と短所があり、完璧であることなど難しいのであるから、お互い認め合い、また、許し合いながら、切磋琢磨し、学びを深める学校であってほしい、このような願いを創立に関わられた方々が、その思いを込められたのだらうと思います。

今、この学校に在籍する生徒の皆さんや、教職員へのメッセージとしても「大切にすべき思い」ではないかと感じています。

創立以来、校訓は「自立・創造」めざしてほしい人物像は「意欲的であれ!」自分自身を常に高めようとできること。そして「やさしくあれ!」友達や地域との連帯感を大切にできること、もうひとつが「たくましくあれ!」強い精神力を持つことです。

新しい一步の始まりです。皆さんの未来を考える時、全ては「夢」から始まると感じます。最後に詩作「夢を描く」に寄稿された2年生の詩を紹介して、私のお話を終わりにしたいと思います。

「夢を現実に」

人類は色々な病を克服し

宇宙や惑星にも行った

全ては夢から始まった

AIやスマホを発明し

人々が豊かに暮らせるようになった

これらも夢から始まった

これから世界を

これから自分を

これからみんなを

夢で救えるかもしれない

夢を現実に

夢がなければできない

全て

夢から始まった

第二学年生徒作品

祝辞

創立40周年実行委員会 委員長
(瀬田北中学校同窓会 会長)

連 吉徳 様

皆さま、こんにちは。創立40周年記念事業実行委員長の連と申します。

僭越ではございますが、実行委員を代表として、お祝いの言葉を述べさせていただきます。

瀬田北中学校創立40周年、誠におめでとうございます。皆さまと共にこの記念式典をお祝いできることを大変うれしく思います。

今から40年前、まだ田園の広がるのどかなこの地に瀬田北中学校が開校しました。

当時、私は真新しい瀬田北中学校の第1回入学生として、新たな学校生活に不安と好奇心を感じながら、この学校の門をくぐったことを今でも覚えています。

開校以来、たくさんの生徒たちがこの学び舎で勉学、スポーツに励み、輝ける青春の季節を過ごし、社会へと巣立っていきました。

この40年の間に地域の景色や世の中のあり方、人々の価値観が大きく変わっていききましたが、その長い歴史の中で、瀬田北中学校はその時代の要請に応えながら、個性と創造性にあふれ心身共に健やかな生徒の育成に取り組んで来られました。

これも一重に歴代の校長先生をはじめ、学校関係者の皆さまや教職員の先生方の愛情と熱意ある教育姿勢が脈々と受け継がれてきたこと、さらには地域の方々、保護者の方々の暖かいご支援ご協力の賜物であることと、あらためて感謝申しあげる次第です。



そして何より、いつも生徒の皆さんが好奇心と向上心を持って真摯に努力している姿に感心させられています。

これからの時代はグローバル化・情報化が今まで以上に進展し、教育の様相や学校の役割も大きく変わっていくことでしょう。

今後も生徒の皆さんには、さらなる学力向上と見聞を広め、人と人との繋がりを大切にすること、時代や環境が変わろうとも、お互いに協力し合い、思いやる心を大切にし、夢と希望をもって、この瀬田北中学校を飛び立ち、信頼される人となられることを願っております。

一日一日、充実した学校生活を送ることにより、瀬田北中学校の長い歴史の1ページとなり、未来へと繋げることにもなります。

また、私たち大人もこれまで以上に学校・家庭・地域の皆さまと一体となって、生徒たちの健全な育成に努めることが役割でもあります。

最後に、瀬田北中学校の益々の発展と皆さまのさらなるご活躍を心より祈念いたしまして、私のお祝いの言葉に代えさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。